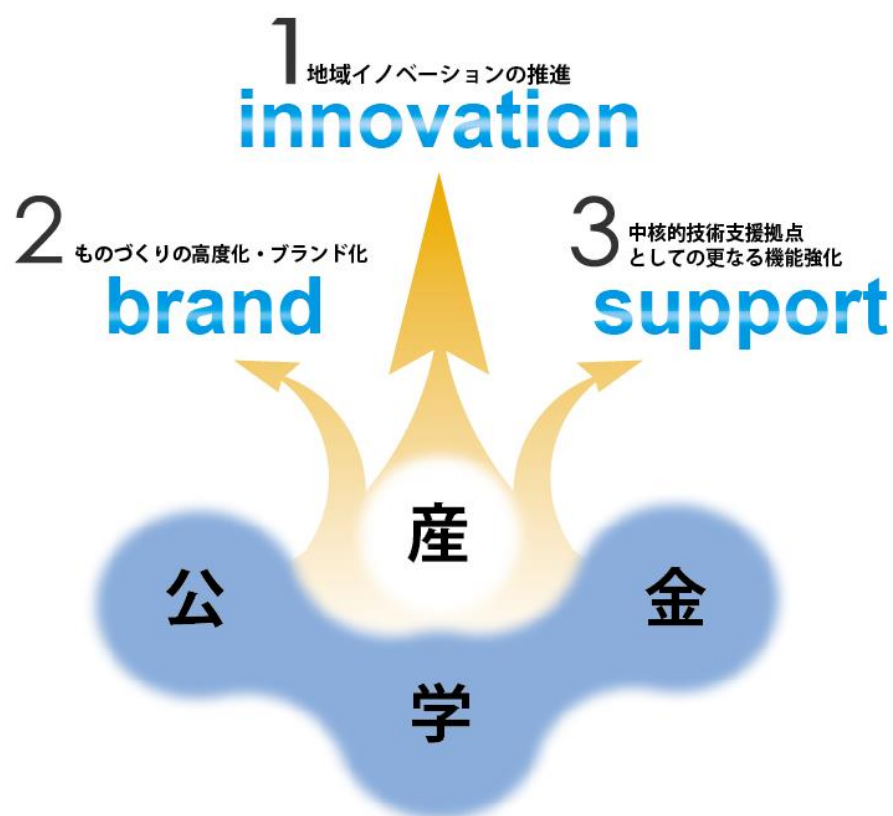


令和元年度

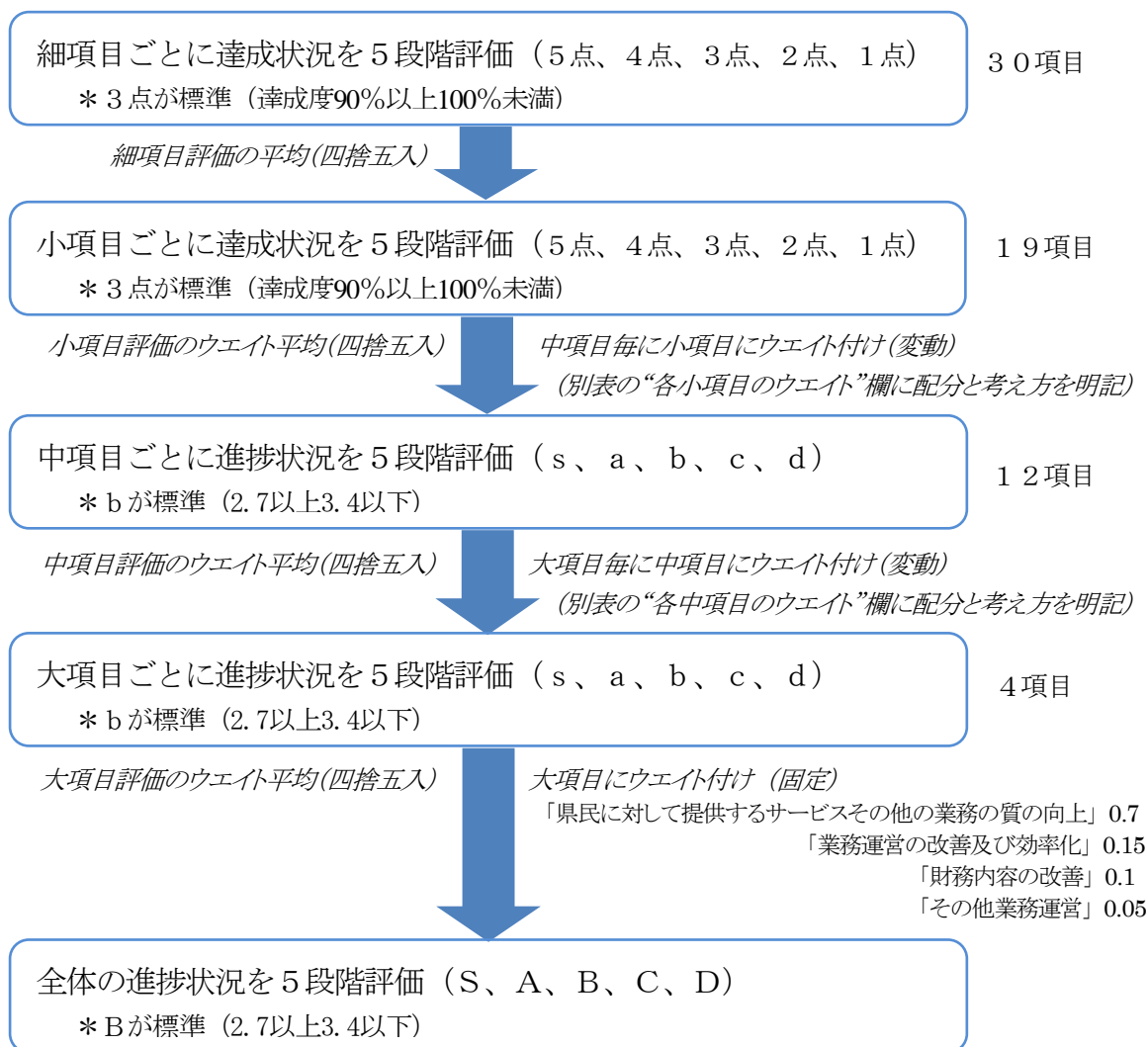
業務実績・決算の概要



令和元年度業務実績

1 自己評価結果

(1) 自己評価の方法



(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

※カッコ内は単純平均での評価値

中期計画の進捗は「概ね順調」 **B**評価 (B) : **3.4**ポイント (3.2) であった。

4つの大項目のうち、ウェイトが最も重い大項目【県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上】は、中項目『中小企業力の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進』で**b**「概ね順調」であったが、他の2つの中項目『成長産業の発展に向けたイノベーションの推進』と『「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化』がそれぞれ**a**「順調」であったため、全体的にも**a**「順調」となった。

一方で、残る3つの大項目【業務運営の改善及び効率化】、【財務内容の改善】及び【その他業務運営】は、それぞれ**b**「概ね順調」であった。

その結果、全体評価は”**B**”、進捗は「概ね順調」となった。

◆評定の概要

別表のとおり

2 令和元年度業務の評価（概要）

【大項目】 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

（評価： a (a) 大項目ウエイト平均： 3. 6 (3.7)）

※カッコ内は単純平均での評価値

中項目 小項目 細項目	評 定	評定の理由		報 告 書																
		主な取組																		
第1-1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進	a (a)	中項目ウエイト平均： 3. 8 (4.0)		—																
第1-1 (1) 成長産業における研究開発を支援する体制の強化	4	年度計画を十分に達成 ・イノベーション推進センターの組織改編と運営継続 新 技術グループとの連携強化のためセンター各チームに研究員を1名ずつ配置 新 食品技術グループと連携した、バイオ関連推進チームによるシーズ利用発展性調査の実施 新 やまぐちR&Dラボ推進事務局の設置と運営開始 新 宇宙データ利用推進センターの設置と運営開始 新 I o Tビジネス創出支援拠点の設置と運営開始		10																
第1-1 (2) 産学公や企業間連携による研究開発・事業化の促進	3	年度計画を概ね達成 ・イノベーション推進センター、やまぐちR&D ラボ推進事務局の取組により、18組の新たな研究開発プロジェクトが始動 ・イノベーション推進センター、産学公連携室、宇宙データ利用推進センター、I o Tビジネス創出支援拠点を中心とした取組により、新たに21件の提案公募型事業に採択 ・提案公募型事業の獲得支援状況 <イノベーション推進センター関連> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10件(5件)</td> <td>12件(12件)</td> </tr> </tbody> </table> <産学公連携室関連> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10件(3件)</td> <td>3件(2件)</td> </tr> </tbody> </table> <宇宙データ利用推進センター関連> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>6件(6件)</td> </tr> </tbody> </table> <I o Tビジネス創出支援拠点関連> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>1件(1件)</td> </tr> </tbody> </table> () 内、新規件数		H30年度	R01年度	10件(5件)	12件(12件)	H30年度	R01年度	10件(3件)	3件(2件)	H30年度	R01年度	—	6件(6件)	H30年度	R01年度	—	1件(1件)	17
H30年度	R01年度																			
10件(5件)	12件(12件)																			
H30年度	R01年度																			
10件(3件)	3件(2件)																			
H30年度	R01年度																			
—	6件(6件)																			
H30年度	R01年度																			
—	1件(1件)																			

第1-1 (3) 数値目標	5	小項目平均：5.0	—															
イノベーションの推進による成長産業分野の事業化件数 7件	5	年度計画を十二分に達成 達成度 143% ◎10件 内訳：イノベ（医療）4件、 イノベ（環境）3件、イノベ（バイオ）1件、 宇宙データ1件、IoT拠点1件	20															
第1-2 中小企業力の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進	b (b)	中項目ウエイト平均：3.0 (3.0)	—															
第1-2 (1) 実用化研究の推進とその成果の普及	3	小項目平均：3.0	—															
ア 実用化研究の推進	3	年度計画を概ね達成 ・実用化研究とその成果による事業化 <table border="1" data-bbox="861 761 1356 1064"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <u>6テーマ実施</u> 内事業化に向けた 取組開始：1テーマ (3件) 競争的資金獲得に 発展：2テーマ </td> <td> <u>10テーマ実施</u> 内事業化に向けた 取組開始：2テーマ (5件) 製品化：1件 特許出願：3件 競争的資金獲得に 発展：2テーマ </td> </tr> </tbody> </table>	H30年度	R01年度	<u>6テーマ実施</u> 内事業化に向けた 取組開始：1テーマ (3件) 競争的資金獲得に 発展：2テーマ	<u>10テーマ実施</u> 内事業化に向けた 取組開始：2テーマ (5件) 製品化：1件 特許出願：3件 競争的資金獲得に 発展：2テーマ	21											
H30年度	R01年度																	
<u>6テーマ実施</u> 内事業化に向けた 取組開始：1テーマ (3件) 競争的資金獲得に 発展：2テーマ	<u>10テーマ実施</u> 内事業化に向けた 取組開始：2テーマ (5件) 製品化：1件 特許出願：3件 競争的資金獲得に 発展：2テーマ																	
イ 研究開発成果の普及 ①研究成果の発信とその成果の活用支援	3	年度計画を概ね達成 ・研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果の積極的発信 ・共同研究・受託研究の実施状況 <table border="1" data-bbox="861 1310 1364 1422"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>12テーマ</td> <td>8テーマ</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>9テーマ</td> <td>8テーマ</td> </tr> </tbody> </table> ・2件の事業化・商品化実績 <table border="1" data-bbox="861 1467 1364 1556"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業化等件数</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		H30年度	R01年度	共同研究	12テーマ	8テーマ	受託研究	9テーマ	8テーマ		H30年度	R01年度	事業化等件数	4	2	26
	H30年度	R01年度																
共同研究	12テーマ	8テーマ																
受託研究	9テーマ	8テーマ																
	H30年度	R01年度																
事業化等件数	4	2																
②知的財産の適切な管理		・研究開発成果の速やかな知的財産化：職務発明6件+特許出願6件（計12件） <table border="1" data-bbox="861 1691 1364 1892"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職務発明</td> <td>2件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>特許出願</td> <td>5件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>新規使用許諾</td> <td>6件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>権利処分※</td> <td>10件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> ※：期間満了及び放棄 ・弁理士を交えた技術グループ毎の知財勉強会 ・知的財産戦略の実践研修 ・特許情報検索講習会・特許明細書作成研修他		H30年度	R01年度	職務発明	2件	6件	特許出願	5件	6件	新規使用許諾	6件	3件	権利処分※	10件	2件	28
	H30年度	R01年度																
職務発明	2件	6件																
特許出願	5件	6件																
新規使用許諾	6件	3件																
権利処分※	10件	2件																

第1-2(2) 企業の技術革新の促進	3	小項目平均：3.0	—								
ア 各種技術研究会活動の積極的な展開	3	年度計画を概ね達成 ・やまぐちブランド技術研究会、やまぐち3Dものづくり研究会、スマート★づくり研究会の継続的な活動 ・衛星データ解析技術研究会の積極的な活動（23回）による提案公募型事業での採択（3テーマ） 新 [技術研究会の再編] 新エネルギー研究会と次世代エネルギー研究会（イノベーション推進センター所管）を統合し、新たに「環境・エネルギー研究会」として活動を開始	29								
イ 研究開発計画策定や資金獲得の支援	3	年度計画を概ね達成 ・企業の技術革新計画の承認支援 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H30年度</td> <td>R01年度</td> </tr> <tr> <td>4企業</td> <td>2企業</td> </tr> </table> ・国等の提案公募型事業（競争的資金）獲得の積極的支援 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H30年度</td> <td>R01年度</td> </tr> <tr> <td>40件 (17件)</td> <td>41件 (14件)</td> </tr> </table> ※括弧はものづくり補助金	H30年度	R01年度	4企業	2企業	H30年度	R01年度	40件 (17件)	41件 (14件)	32
H30年度	R01年度										
4企業	2企業										
H30年度	R01年度										
40件 (17件)	41件 (14件)										
第1-2(3) 数値目標	3	小項目平均：3.3	—								
ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数 11件	2	年度計画はやや未達成 達成度 82% ・9件 内訳：特許等出願6件、使用許諾3件 ※使用許諾が例年に比較して少なかった。	35								
イ 国等の提案公募型研究開発事業の実施件数 8件	4	年度計画を十分に達成 達成度 100% ・8件 内訳（実施契約を伴うもの） 農林水産省補助事業2件、サポイン2件、YMFG地域助成金、伊藤記念財団研究助成基金、A-Step、円滑化実証等対策事業 各1件 ※うち新規 5件 （参考）研究開発以外の提案公募型事業実施件数：1件（地域イノベーション・エコシステム形成プログラム事業） ※新規提案6件に対して採択5件	35								
ウ 研究開発・技術支援が事業化（商品化）に至った件数 9件	4	年度計画を十分に達成 達成度 100% ◎9件 内訳：研究開発2件、技術支援7件	36								

第1-3 「中核的技術支援拠点」 としての更なる機能強化	a (a)	中項目ウェイト平均：4.0 (4.0)	—									
第1-3 (1) 産業技術に関する 相談等の充実	4	小項目平均：3.5	—									
ア 技術相談の充実	3	年度計画を概ね達成 ・技術相談室の相談対応の専任者による迅速かつ的確な対応と ・新規企業訪問の積極的な実施	37									
イ 地域課題解決への取組	4	年度計画を十分に達成 ○農業・漁業分野については、県内事業者や公設試験等から課題抽出を行い、10テーマの研究開発に反映させ、1件の事業化を達成 ○サービス分野については、医療関連の課題掘り起こしから4件の事業化 衛星データの情報産業への展開では国等の提案公募型事業に6テーマが採択	39									
第1-3 (2) 試験研究機器の 整備等による技術支援サービスの 充実	4	小項目平均：3.5	—									
技術支援サービス充実への 取組	4	年度計画を十分に達成 ○企業のニーズを反映した機器整備 (8 機器) ○技術支援サービス向上に必要な機器整備 (新規・更新・増設：17 機器) ■バーチャル3Dものづくり支援センター (V3DC) の運用開始と多くの利用 (実績：39社、125件、8,336千円)	43									
技術支援サービスの検証	3	年度計画を概ね達成 ・技術支援サービスの満足度が99%以上 ・技術支援サービスを企業が受ける目的の分析 ＜技術相談＞「新製品の開発」「製品の品質評価」が多いが飛び抜けてはならず、多様な目的が並立する ＜開放機器＞「製品の品質管理」「基礎研究」及び「新製品の開発」で約8割を占める ＜依頼試験＞「製品の品質管理」が約7割	45									
ア 開放機器、依頼試験 ①開放機器	4	年度計画を十分に達成 ・計画的な機器の保守・校正を継続的にを行い、開放機器の信頼性を確保 ○開放機器一覧の更新と、継続的な配布 ・利用件数が約9%減少 (V3DC運用開始により、3Dプリンタ系が全て依頼試験に移動したためと思われる) <table border="1" data-bbox="863 1962 1345 2067"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>3,068</td> <td>2,816</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>17,519</td> <td>17,078</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H30年度	R01年度	利用件数(件)	3,068	2,816	利用金額(千円)	17,519	17,078	46
年度	H30年度	R01年度										
利用件数(件)	3,068	2,816										
利用金額(千円)	17,519	17,078										

②依頼試験		<p>・機器の保守、校正を継続的に行い、試験結果の公正性を確保しながら、オーダーメイド試験による柔軟な対応も実施</p> <p>○V3DC運用開始の効果で、<u>利用件数、利用金額共に過去最高</u></p> <table border="1" data-bbox="858 344 1337 512"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>774</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>11,826</td> <td>18,760</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">O.M.*</td> <td>件数</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>金額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>71%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*O.M.：オーダーメイド試験</p>	年度	H30年度	R01年度	利用件数(件)	774	920	利用金額(千円)	11,826	18,760	O.M.*	件数	23%	割合	金額			53%			71%	48
年度	H30年度	R01年度																					
利用件数(件)	774	920																					
利用金額(千円)	11,826	18,760																					
O.M.*	件数	23%																					
	割合	金額																					
		53%																					
		71%																					
イ 受託研究・共同研究	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <p>・企業等からの共同研究・受託研究の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="858 647 1362 768"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>12テーマ</td> <td>8テーマ</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>9テーマ</td> <td>8テーマ</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開始時期、研究期間の柔軟な対応（共同研究5テーマ）</p>		H30年度	R01年度	共同研究	12テーマ	8テーマ	受託研究	9テーマ	8テーマ	48											
	H30年度	R01年度																					
共同研究	12テーマ	8テーマ																					
受託研究	9テーマ	8テーマ																					
ウ 技術者研修	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <p>・職員派遣研修 4件（派遣職員数：延べ20名）</p> <p>・技術者受入研修 5名</p> <p>・インターンシップ研修生 2名、職場体験学習 10名を受け入れ</p>	49																				
エ 新事業創造支援センターの効果的活用	4	<p>年度計画を十分に達成</p> <p>○利用促進を図るために、パンフレット等を活用してPR（R01年度内の入居2社・2室）</p> <p>・技術革新計画承認企業に対する減免制度運用（制度利用1社・1室）</p> <p>・産学連携料金（減免措置）の適用（申請企業4社・5室）</p> <p>○入居企業数（室数）が引き続き増加</p> <table border="1" data-bbox="847 1424 1362 1543"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入居企業数</td> <td>6社</td> <td>7社</td> </tr> <tr> <td>入居室数/12室</td> <td>7室</td> <td>8室</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H30年度	R01年度	入居企業数	6社	7社	入居室数/12室	7室	8室	50											
年度	H30年度	R01年度																					
入居企業数	6社	7社																					
入居室数/12室	7室	8室																					
第1-3(3)効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実	4	<p>年度計画を十分に達成</p> <p>○多様化する県内企業ニーズへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッチャル3Dものづくり支援センターの運用 ・海外市場調査のための職員の海外派遣 <p>○大学、国公設試、やまぐち産業振興財団や金融機関等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山大とのイノベーション創出推進拠点の共同運営 ・山銀との企業の問題解決に向けた共同支援など <p>■新産業技術連携推進会議から感謝状を授与 「中国地域公設試験研究機関開放機器DBの構築と運用」、産総研中国センター及び中国地方の工業系公設試（7機関）</p>	52																				

第1-3 (4) 数値目標	4	小項目平均：4.0	—
ア 技術相談件数 3,900件	4	年度計画を十二分に達成 達成度 114% ◎ 4,442件	58
イ 開放機器・依頼試験の利用件数 3,740件	4	年度計画を十二分に達成 達成度 100%* ○ 3,736件 ※小数点以下第1位を四捨五入（要領による）	58

【大項目】第2 業務運営の改善及び効率化

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3.0 (3.0))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第2-1 運営体制や経営資源配分の継続的見直し	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会議の開催等による情報共有と意思統一 ■新会計年度任用職員制度への対応 ・経営資源の配分見直しを実施（機能維持のための機器・緊急を要する設備の修繕・更新） ・経営委員会の定期的開催による、理事長の迅速な意志決定 	59
第2-2 センター業務の「見える化」の推進	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新第3期「技術戦略」の策定 ・刊行物(4種類)を発行し、ホームページへの掲載や発表会・展示会などを通じて広く配布 ・機器活用事例パネルの作成・掲示（5機器） 	61
第2-3 職員の職能開発の体系的・計画的実施	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成方針に沿って、外部機関への研修派遣や外部講師を活用した所内研修を計画的に実施 	64
第2-4 コンプライアンスの確保	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営委員会や監査、安全衛生委員会などを適切に運用 ・規程の定めに基づき、研究開発に関わるコンプライアンス確保のための教育を実施 	67
第2-5 危機管理対策の充実	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員に職員教育を実施 ・全職員に情報セキュリティ教育を実施 ・ネットワーク関連機器の計画的な更新（一部機器の更新） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施（セミナーの中止等） ■新Web会議システム(Zoom)を新規導入 	68

【大項目】第3 財務内容の改善

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3.0 (3.0))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第3-1 自己収入の確保	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器整備や研究開発に係る競争的資金の獲得 (機器整備：7 機器、研究開発：8 件) ・ イノベーション推進への外部資金の活用 ・ 使用料・手数料、受託研究及び知的財産の実施料などによる自己収入を確保 	70
第3-2 経費の抑制	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度事業費の実績の考慮と厳密な積算による予算の抑制 ・ 執行管理のため、上半期終了後に予算執行状況の集計・再配分を実施 ■ 新 公用車 (8 人乗りワゴン車) 1 台の増車に加え、会計処理手順やチェック体制を見直すなど効率的な業務運営への取組 ・ 比較的規模の小さな経費まで精査 	73

【大項目】第4 その他業務運営に関する重要事項

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3.0 (3.0))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第4-1 施設設備の適正な管理	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保守業務への計画的な予算配分 ・ 空調設備の修繕等への重点的な予算執行 ・ 利用者が施設を利用する際の空調については室温を見ながら弾力的に運用 ・ 施設利用者が過去2番目の人数 (5,845人) 	74
第4-2 環境負荷の低減	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ・省資源、ゴミの分別収集による古紙などの再資源化等の取組 ■ 新 省エネアイデアアンケートの結果に基づく省エネ活動の実施 ■ 新 太陽光発電設備更新のための長期賃貸借契約の締結 	75

3 令和元年度に計画していた特筆すべき事項に関する取組状況

頁	特筆すべき事項	取組状況
p.10 ～ p.16	<p>①成長産業における研究開発支援体制の強化 <第 1-1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進></p> <p>成長産業の発展に向けて、県内企業のニーズ、シーズの発掘から事業化に至るまでの研究開発プロジェクトを総合的に支援するコーディネート体制を次のように強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療関連、環境・エネルギー、バイオ関連産業におけるイノベーションの推進を支援する「イノベーション推進センター」の継続・運営 ・ 県内基幹産業（基礎素材、輸送用機械）などの研究者や技術者が交流する場（やまぐち R&Dラボ）を構築し、企業連携による新技術・製品等の創出を支援する「R&Dラボ推進事務局」の設置・運営 ・ 県内企業の衛星データの利用促進を支援する「宇宙データ利用推進センター」の設置・運営 ・ I o Tベンダーとユーザーの協創によって、I o Tを活用した新たなビジネスの創出を支援する「I o Tビジネス創出支援拠点」の設置・運営 	<p><第 1-1 (1) 成長産業における研究開発を支援する体制の強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イノベーション推進センターでは、「水素関連技術支援チーム」を「環境・エネルギー推進チーム」に合流・一体的な運営を行うよう組織改編し、運営を継続 ・ 加えて、イノベーション推進センターの各チームに1名ずつ企業支援部 SL(または副部長)を配置し、関連部署との連携を密にする仕組みを導入【新】 ・ 企業支援部(食品技術グループ)と連携して技術シーズの可能性を評価するシーズ利用発展性調査を実施【新】 ・ やまぐち R&Dラボ推進事務局の設置と運営開始【新】 ・ 宇宙データ利用推進センターの設置と運営開始【新】 ・ I o Tビジネス創出支援拠点の設置と運営開始【新】
P.29 ～ P.31	<p>②各種技術研究会活動の積極的な展開 <第 1-2 中小企業力の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい技術研究会の創設を含め、「やまぐちブランド技術研究会」を中心とした技術研究会の再編を適切に行い、それらの研究会活動を積極的に展開する。 	<p><第 1-1 (2) ア 各種技術研究会活動の積極的な展開></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐちブランド技術研究会」では、県内企業の技術革新計画の策定に向けた個別支援の成果として2企業で承認を受けた。 ・ 新エネルギー研究会と次世代エネルギー研究会(イノベーション推進センター所管)を統合して新しく「環境・エネルギー研究会」を発足、活動を開始した。(イノベーション推進センターの改組とも連動) ・ 「衛星データ解析技術研究会」では、会員を中心にした研究会・技術セミナー・ワーキンググループなどの積極的な活動(23回)。加えて、会員企業等の国等の提案公募型研究開発事業への申請を支援し、新たに3テーマが採択。【新】 ・ 「やまぐち 3Dものづくり研究会」では、研究会活動を通じて「バーチャル 3Dものづくり支援センター」の立上げ支援に関わる活動を実施。 ・ 「スマート★づくり研究会」では、積極的なワークショップ活動(21回)を実施。

頁	特筆すべき事項	取組状況
<p>p.27 P39</p> <p>p.44</p>	<p>③「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化</p> <p><第 1-3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化></p> <p><相談等の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援結果の継続的なフォローアップの効果的・効率的な手法について検討する。 <p><技術支援サービスの充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バーチャル 3D ものづくり支援センター」の運用を開始する。 	<p><第 1-2 (1) イ 研究開発成果の普及></p> <p><第 1-3 (1) ア 技術相談の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果移転後の効果的なフォローアップ実施のため、以下の基本方針を策定した。【新】 ①実績のあった支援先企業に対し、研究員とコーディネータが協力してヒアリング ②結果はデータ化・共有化すると共に、支援の際はニーズに応じた職員が単独または外部支援機関と連携する ③外部支援機関の支援メニュー等について研修会等を通じて理解し、支援力を強化 ④研究開発成果と技術支援成果は区別しない ・上記基本方針の③に従い、「独立行政法人中小企業基盤整備機構事業紹介セミナー」を開催 <p><第 1-3 (2) 試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地から 3D 機器の活用を促進するしくみである、「バーチャル 3D ものづくり支援センター」の運用を開始し、39 社、125 件、8,336 千円と、多くの利用があったが、当初の目的であった「遠隔地からの活用促進」には課題が残った。【新】
<p>p.61</p>	<p>④適時・適切な情報発信</p> <p><第 2-2 センター業務の「見える化」の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 期「技術戦略」を策定し、冊子化する 	<p><第 2-2 センター業務の「見える化」の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターが第 3 期の「中期計画」の達成に向けて取り組む研究開発や技術支援、産学公連携等の業務全体について、新たな「技術戦略」を策定したが、冊子化は R2 年度になった。【新】

4 令和元年度の自己評価結果を受けて、令和2年度に実施する特筆すべき事項

① 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進

＜第1-1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進＞

成長産業の発展に向けて、令和元年度に強化したコーディネート体制や、企業支援部との連携を密にするしくみを活かしながら、県内企業のニーズ、シーズの発掘から事業化に至るまでの研究開発プロジェクトを総合的に支援することで、以下の目標達成に努める。

特に、令和元年度から始まった R&D ラボ (IoT を含む) の活動を効果的に進める ことによって、県内企業での事業化を推進する。

- ・イノベーションの推進による成長産業分野の事業化件数 11件

(令和2年度の目標値は、令和元年度に対して4件の増)

② ものづくり力の高度化・ブランド化の推進

＜第1-2 中小企業力の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進＞

実用化研究の基盤となる技術を生み出す研究開発成果を的確かつ速やかに普及させるため、以下の取組を行う

- ・成果移転後の継続的なフォローアップの効果的・効率的なしくみについて、試行を重ねながら、引き続き検討を進める。
- ・研究開発成果の知的財産化を速やかに進め、発明から出願、取得、実施に至る管理を適切に行う。特に、令和元年度に少なかった知的財産の新規実施許諾を増やし、研究成果の普及に努める。

③ 技術支援サービス充実への取組

＜第1-3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化＞

技術支援サービスの充実を継続するために、県内企業のニーズを踏まえた計画的な先端試験研究機器や、試験研究や技術支援サービスの向上に必要な機器の整備を積極的に行い、県内企業の活用に努める。特に、バーチャル3Dものづくりセンターは、遠隔地からの活用促進に努める。

④ センター業務の「見える化」の推進

＜第2-2 センター業務の「見える化」の推進＞

- ・第3期「技術戦略」について、冊子の配付を進め、その周知と浸透に努める。

⑤ 危機管理対策の充実

＜第2-5 危機管理対策の充実＞

コロナウイルス感染拡大防止の観点から様々な制約がある中で、産業技術センターの機能をできるだけ維持するとともに、県内企業の利便性を確保して、技術支援に努める。また、資金繰りに苦しむ県内中小企業の事業継続を支援するために、開放機器や依頼試験などの技術支援経費の1年間の猶予を行う。

情報セキュリティの確保に努めるとともに、業務を通じて知り得た秘密情報（個人情報、企業情報、技術情報等）について、漏洩防止や適切な利用のために必要な措置を講じる。特に、情報セキュリティに脆弱なシステムの更新を速やかに進める。

⑥ 施設設備の適切な管理

＜第4-1 施設設備の適切な管理＞

現在の場所に新築移転してから20年が経過し、施設設備の老朽化も進んできたため、長期的な更新計画を策定し、緊急を要する施設の更新に資金を適切に配分して、安定的なサービスの提供が継続できるように努める。

令和元年度決算

1 財務諸表

(1) 貸借対照表の要旨 (令和2年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,255	固定負債	231
有形固定資産	5,238	流動負債	106
土地	1,001		
建物	4,002	【負債合計】	337
その他	235	資本金	6,375
無形固定資産	17	資本剰余金	△1,351
		資本剰余金	304
		損益外減価償却累計額	△1,655
流動資産	170	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	98	利益剰余金	64
その他	72	前中期目標期間繰越積立金	53
		当期末処分利益	12
		【純資産合計】	5,089
資産合計 (※H30:5,624)	5,426	負債・純資産合計	5,426

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成31年4月1日～令和2年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	915	経常収益	926
業務費	283	運営費交付金収益	608
人件費	485	使用料・手数料収入	42
管理運営費	147	特許実施料	2
		受託事業等収益	139
		補助金収益	67
		資産見返負債戻入	67
臨時損失	0	その他収益	1
(当期純利益)	12	臨時利益	0
当期総利益	12	目的積立金取崩額	0
合計 (※H30:870)	926	合計	926

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	650	業務費	219
自己収入	279	人件費	485
前年度繰越金	0	一般管理費	144
目的積立金取崩	0	施設費	70
合計 (※H30:947)	929	合計	918
収支差額			11

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(別表) 令和元年度評価における項目別評価結果総括表

(大項目) (中項目) (小項目) (細項目)	中期計画 における 対象細項 目数	年度計画 における 対象細項 目数	細項目別評価の評点内訳 (個数)						細項目別 評価の評 点の平均 値	小項目 別評価 の評点	各小項目のウエイト		中項目別 評価 (加重平 均値)	各中項目のウエイト		大項目別 評価 (加重平 均値)	各中項目 のウエイ ト	全体評価 (加重平 均値)
			5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	計			配分	考え方		配分	考え方			
全体評価	30	30	1	10	18	1	0	30	3.4									
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	21	21	1	10	9	1	0	21	3.5									
1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進	3	3	1	1	1	0	0	3	4.0			「体制の強化」 「研究開発・事業 化の促進」に重点 的に配分	加平均 a(3.8)	0.4				
(1) 成長産業における研究開発を支援する体制の強化	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0	4	0.4		単純平均 a(4.0)					
新たなイノベーション創出への取組と、コーディネート体制の強化	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
(2) 産学公や企業間連携による研究開発・事業化の促進	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0	3	0.4		単純平均 a(4.0)					
産学公や企業間連携等を活かした、県内企業での研究開発・事業化の促進	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
(3) 数値目標	1	1	1	0	0	0	0	1	5.0	5	0.2		単純平均 a(4.0)					
イノベーションの推進による成長産業分野の事業化件数	1	1	1	0	0	0	0	1	5.0									
2 中小企業力の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進	7	7	0	2	4	1	0	7	3.1			「実用化研究の推 進とその成果の普 及」「技術革新の 促進」に重点的に 配分	0.3	「成長産業の発展に に向けたイノベーシ ョンの推進」に重点 的に配分				
(1) 実用化研究の推進とその成果の普及	2	2	0	0	2	0	0	2	3.0	3	0.4						加平均 b(3.0)	
ア 実用化研究の推進	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
イ 研究開発成果の普及	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
(2) 企業の技術革新の促進	2	2	0	0	2	0	0	2	3.0	3	0.4						加平均 b(3.0)	
ア 各種技術研究会活動の積極的な展開	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
イ 研究開発計画策定や資金獲得の支援	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
(3) 数値目標	3	3	0	2	0	1	0	3	3.3	3	0.2						単純平均 b(3.0)	
ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数	1	1	0	0	0	1	0	1	2.0									
イ 国等の提案公募型研究開発事業の実施件数	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
ウ 研究開発・技術支援が事業化(商品化)に至った件数	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0			単純平均 a(3.7)						
3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化	11	11	0	7	4	0	0	11	3.6				「試験研究機器の 整備等による技術 支援サービスの充 実」に重点的に配 分	0.3				
(1) 産業技術に関する相談等の充実	2	2	0	1	1	0	0	2	3.5	4	0.2							加平均 a(4.0)
ア 技術相談の充実	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
イ 地域課題解決への取組	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
(2) 試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実	6	6	0	3	3	0	0	6	3.5	4	0.4	加平均 a(4.0)						
技術支援サービス充実への取組	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
技術支援サービスの検証	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
ア 開放機器、依頼試験	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
イ 受託研究・共同研究	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
ウ 技術者研修	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0									
エ 新事業創造支援センターの効果的活用	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
(3) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0	4	0.2							単純平均 a(4.0)
多様化する県内企業ニーズへの対応及び他支援機関等との連携	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
(4) 数値目標	2	2	0	2	0	0	0	2	4.0	4	0.2							
ア 技術相談件数	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0									
イ 開放機器・依頼試験の利用件数	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0			単純平均 B(3.4)						
													単純平均 B(3.2)					

